

広陵町男女共同参画に関する意識調査
調査結果
－速報－

令和4年10月

広陵町

目次

I 調査概要.....	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査設計.....	1
3. 調査内容.....	1
4. 回収結果.....	1
5. 結果の見方.....	1
II 調査結果.....	2
1. あなたのことについて.....	2
(1) 性別.....	2
(2) 年齢.....	2
(3) 小学校区.....	2
(4) 配偶者またはパートナーの有無.....	3
(5) 世帯構成.....	3
(6) 末子の年齢.....	3
2. あなたの仕事・生活について.....	4
(1) 仕事の有無.....	4
(2) 雇用形態.....	4
(3) 配偶者またはパートナーの仕事の有無.....	5
(4) 配偶者またはパートナーの雇用形態.....	5
(5) 生活時間.....	6
(6) 仕事をしていない理由.....	8
(7) 就労意向の有無.....	8
(8) 仕事に就く上で問題となること.....	9
(9) 女性が仕事を持つことについて.....	10
(10) 女性が仕事を続けるために必要なこと.....	10
(11) 家庭における役割分担.....	11
(12) 望ましい家庭における役割分担.....	13
(13) 男女が共同で家事、子育て、介護に積極的に参加していくために必要なこと.....	15
3. DVやハラスメントについて.....	16
(1) DVについての認識.....	16
(2) DVを受けた経験の有無.....	18
(3) ハラスメント等を受けた経験の有無.....	18
(4) DV・ハラスメントの相談状況.....	19
(5) DV・ハラスメントを相談しなかった理由.....	20
4. 男女共同参画に関する意識について.....	21

(1)性別役割分担意識	21
(2)家庭や子育てについての考え方	22
(3)男女の地位の平等観	23
(4)性的マイノリティにとって生活しづらい社会だと思うか	25
(5)性的マイノリティにとって生活しづらい社会となっている理由.....	25
(6)「女性・男性であること」によって負担感や生きづらさを感じたことがあるか	26
(7)「女性・男性であること」によって負担感や生きづらさを感じたとき.....	26
(8)性別や年齢などによる違いや多様性に配慮した災害対応をしていくために必要なこと	27
(9)男女共同参画社会を実現するため行政が力を入れていくべきこと.....	28

I 調査概要

1. 調査の目的

広陵町では平成29年度に「広陵町男女共同参画行動計画」を策定し、男女共同参画社会の実現を目指し、様々な施策に取り組んでいます。令和4年度は本計画の見直し時期となることから、町民の男女共同参画に関する意識や実態を把握し、計画見直しの基礎資料とするとともに、今後の施策の参考にすることを目的として調査を実施しました。

2. 調査設計

調査対象	広陵町内に在住する満 18 歳以上の方々2,500 名
調査期間	令和 4 年 8 月 10 日(水)～9 月 9 日(金)
調査方法	郵送により調査票を配布、郵送またはインターネットにより回答

3. 調査内容

1. あなたのことについて
2. あなたの仕事・生活について
3. DVやハラスメントについて
4. 男女共同参画に関する意識について

4. 回収結果

配布数	回収数	有効回答数		有効回答率
		郵送	WEB	
2500 件	994 件	994 件	729 件 265 件	39.8%

	郵送回収		インターネット回収	
	件数	%	件数	%
29 歳以下	69 件	61.1%	44 件	38.9%
30～39 歳	106 件	62.7%	63 件	37.3%
40～49 歳	126 件	64.0%	71 件	36.0%
50～59 歳	158 件	74.5%	54 件	25.5%
60～69 歳	156 件	84.8%	28 件	15.2%
70 歳以上	107 件	95.5%	5 件	4.5%
年齢無回答	7 件	100.0%	-	-
全体	729 件	73.3%	265 件	26.7%

5. 結果の見方

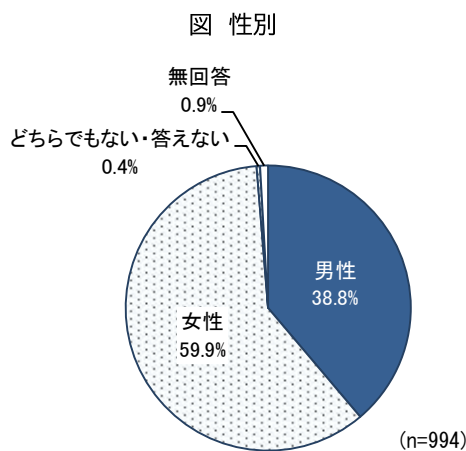
- (1) 回答は、各質問の回答者数(n)を基数とした百分率(%)で示してある。小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%にならない場合がある。
- (2) 複数回答を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を上回る。
- (3) 回答があっても、小数点第2位を四捨五入して0.1%に満たない場合は、図表には「0.0」と表記している場合がある。
- (4) 回答者数(n)が少ない場合は、比率の数字に偏りが生じやすく、厳密な比較をすることは難しいので、おおよその回答の傾向をみることになる。

II 調査結果

1.あなたのことについて

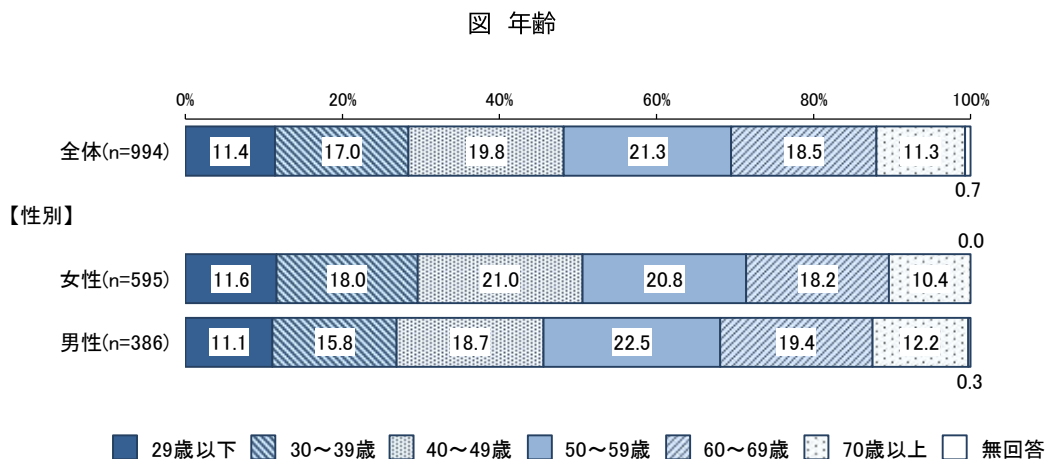
(1)性別

問1 あなたの性別は、どちらですか。(○はひとつ)



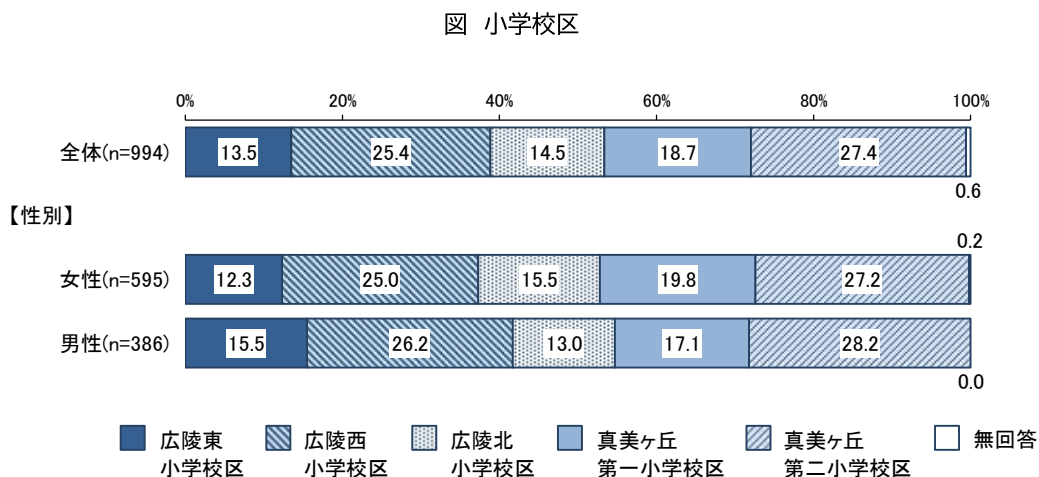
(2)年齢

問2 あなたの年齢は、おいくつですか。(○はひとつ)



(3)小学校区

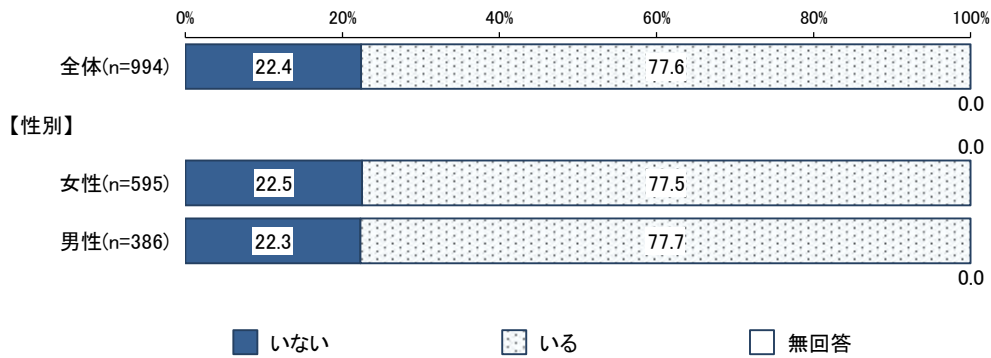
問3 あなたの居住している小学校区は、どちらですか。(○はひとつ)



(4)配偶者またはパートナーの有無

問4 あなたは、配偶者またはパートナーがいますか。(〇はひとつ)

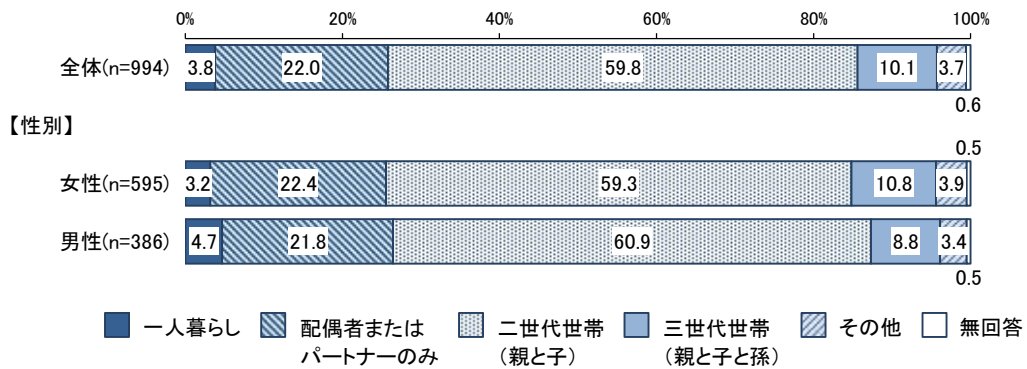
図 配偶者またはパートナーの有無



(5)世帯構成

問5 あなたの世帯構成は次のうちどれですか。(〇はひとつ)

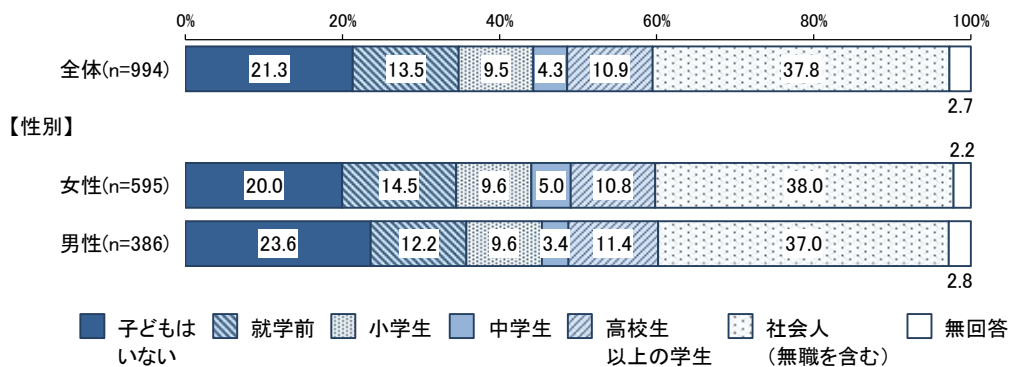
図 世帯構成



(6)末子の年齢

問6 あなたのお子さんのうち一番下のお子さんの年齢はどれにあたりますか。(〇はひとつ)

図 末子の年齢

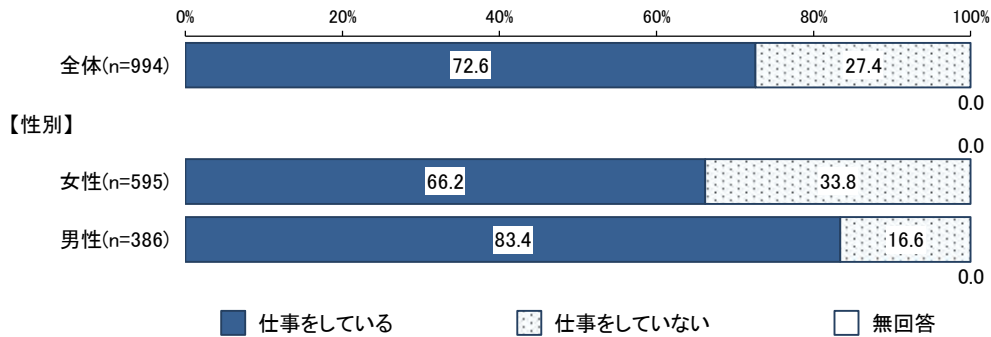


2.あなたの仕事・生活について

(1)仕事の有無

問7 あなたは、収入を得る仕事をしていますか(パート、アルバイト等を含む)。(どちらかに○)

図 仕事の有無

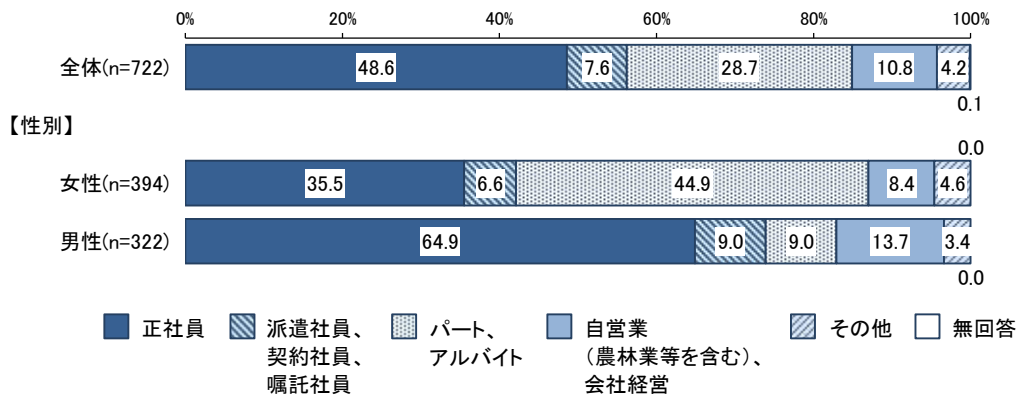


(2)雇用形態

問7で「1. 仕事をしている」と回答した方にお聞きます。

問7-1 それは、どのような雇用形態ですか。(○はひとつ)

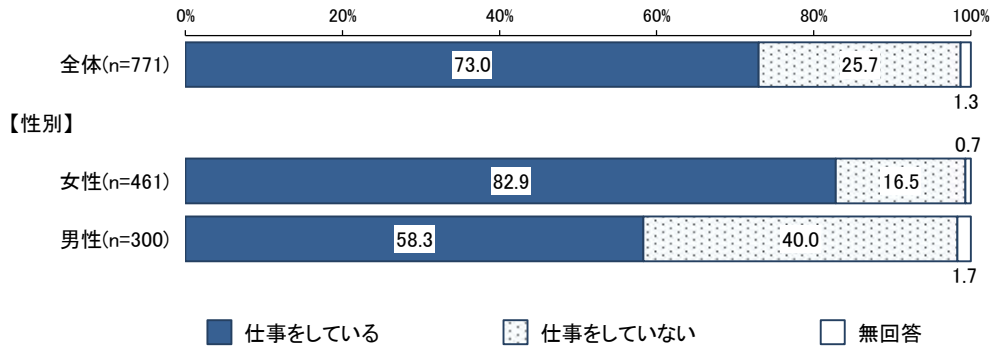
図 雇用形態



(3)配偶者またはパートナーの仕事の有無

問8 あなたの配偶者またはパートナーは、収入を得る仕事をしていますか(パート、アルバイト等を含む)。(〇はひとつ)

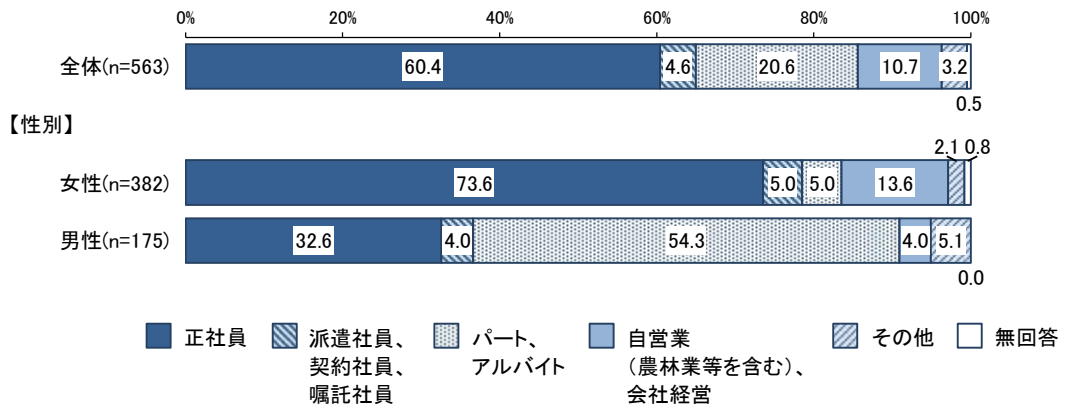
図 配偶者またはパートナーの仕事の有無



(4)配偶者またはパートナーの雇用形態

問8で「1. 仕事をしている」と回答した方にお聞きます。
 問8-1 あなたの配偶者またはパートナーは、どのような雇用形態ですか。(〇はひとつ)

図 配偶者またはパートナーの雇用形態



(5)生活時間

問9 あなたが、日頃の生活のなかで各活動に費やしている時間は1日のうちでどれくらいですか。①から③のそれぞれについて時間をお書きください。1時間に満たない場合は分のみお書きください。また該当しない場合は、「-」を記入してください。

①家事(炊事、買い物、洗濯、掃除等)※買い物等の移動時間を含む。

図 家事時間 - 仕事や学校のある日

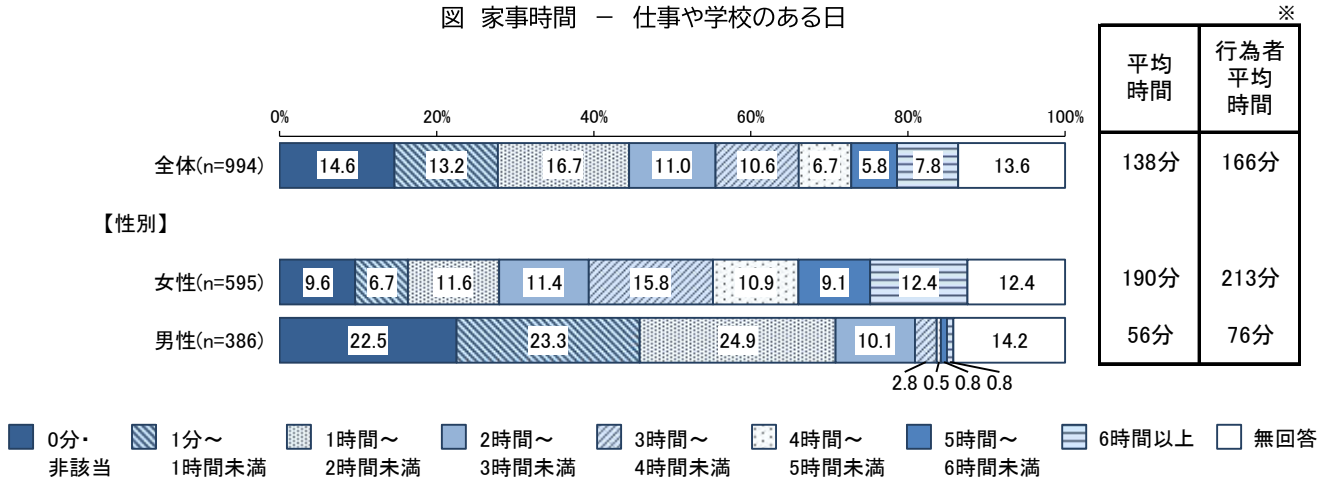
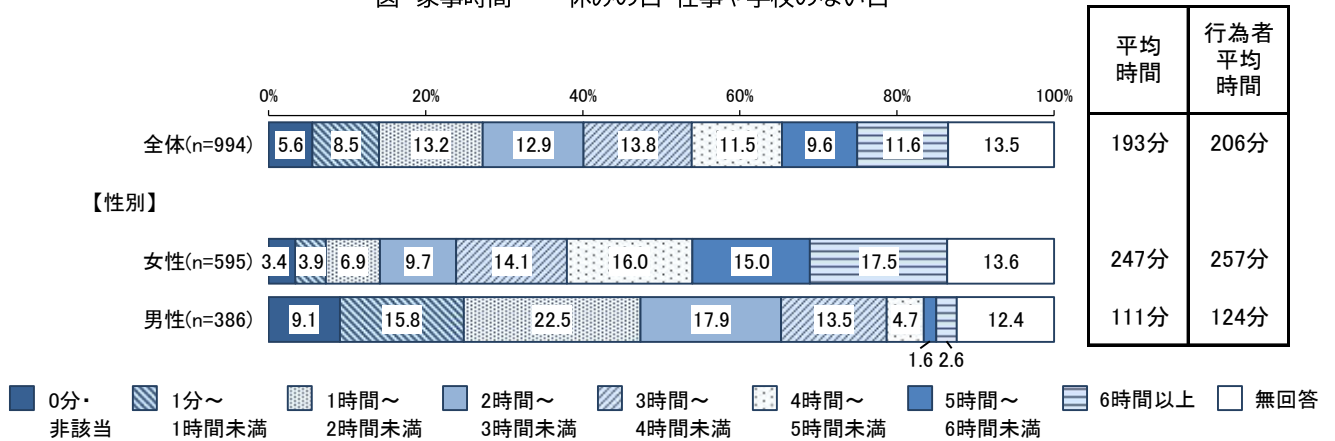


図 家事時間 - 休みの日・仕事や学校のない日



※「平均時間」: 0分・非該当と回答した人も含む平均値
 「行為者平均時間」: その行為を1分以上行ったと回答した人の平均値

②育児・介護等※習い事・施設等の送迎時間を含む。

図 育児・介護等時間 - 仕事や学校のある日

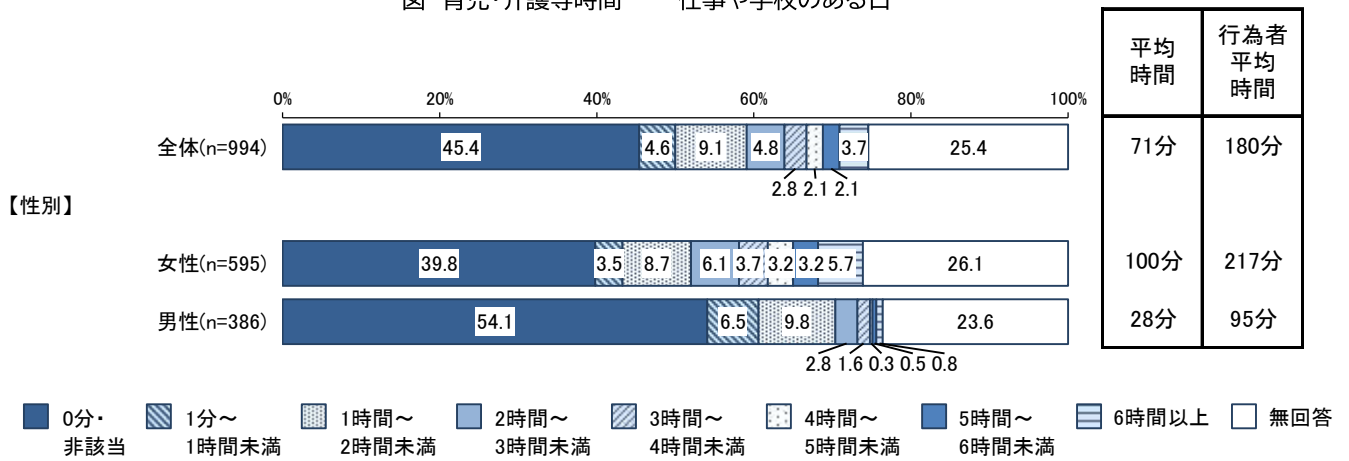
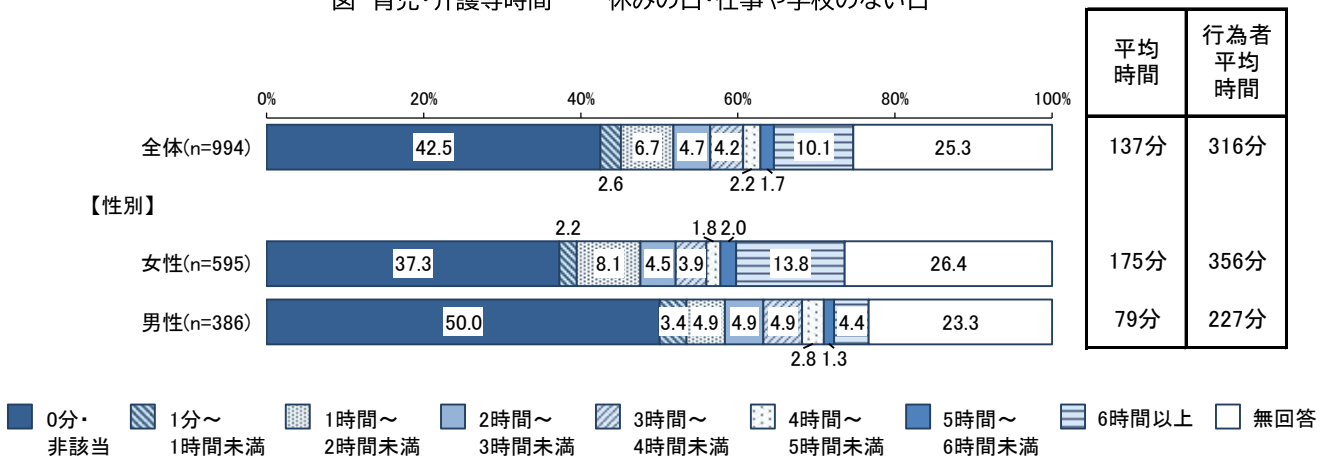
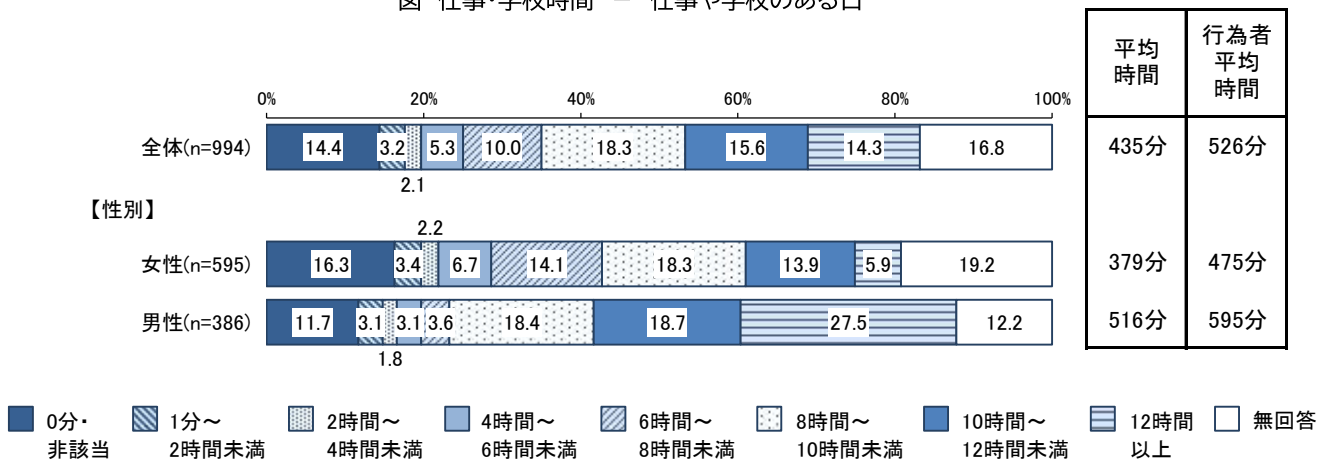


図 育児・介護等時間 - 休みの日・仕事や学校のない日



③仕事・学校※通勤・通学時間を含む。

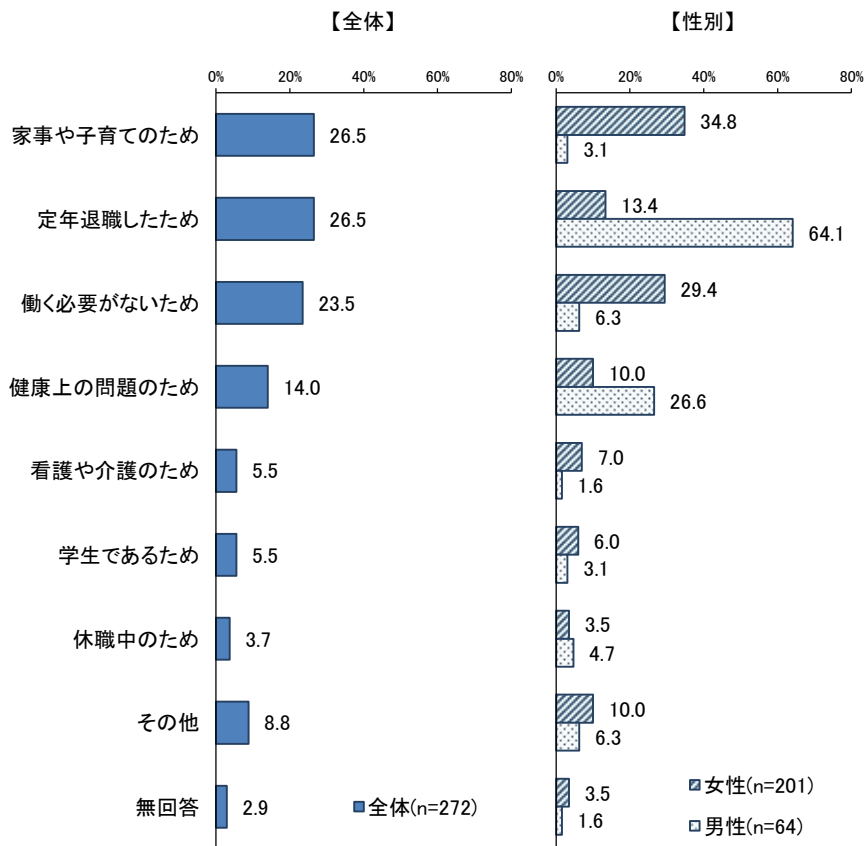
図 仕事・学校時間 - 仕事や学校のある日



(6) 仕事をしていない理由

問7で「2. 仕事をしていない」と回答した方にお聞きます。
 ※ 仕事をしている方は、問 12 へお進みください。
 問 10 あなたが、仕事をしていないのはどうしてですか。(〇はいくつでも)

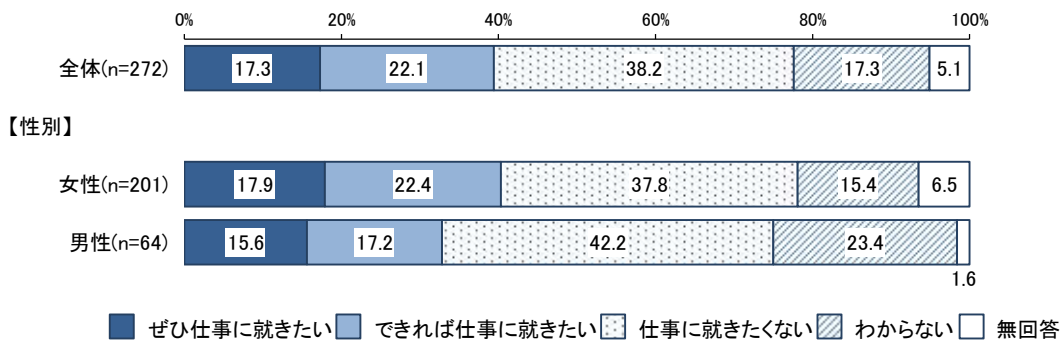
図 仕事をしていない理由



(7) 就労意向の有無

問 11 あなたは、今後収入を得る仕事に就きたいと思いますか。(〇はひとつ)

図 就労意向の有無

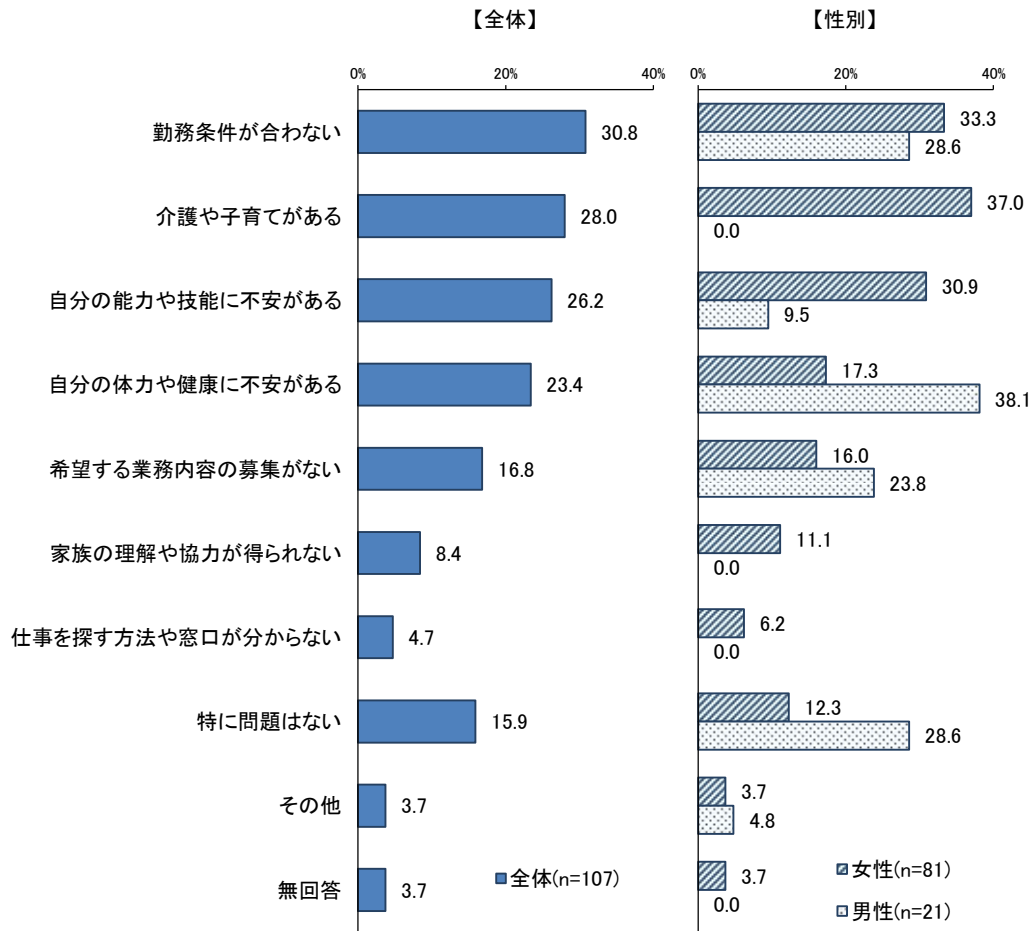


(8)仕事に就く上で問題となること

問 11 で「1. ぜひ仕事に就きたい」「2. できれば仕事に就きたい」と回答した方にお聞きします。

問 11-1 あなたが今後仕事に就く上で問題となることは何ですか。(〇はいくつでも)

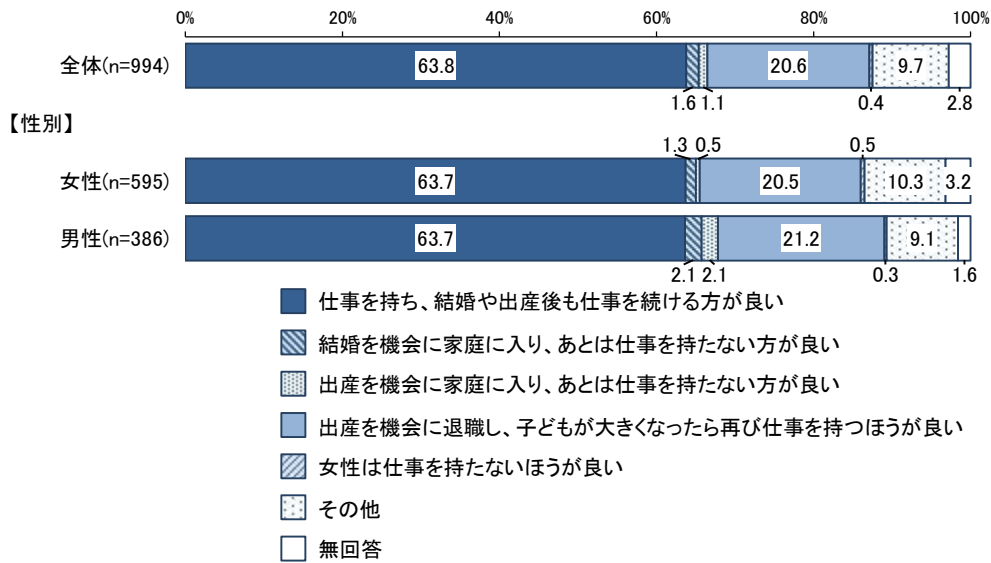
図 仕事に就く上で問題となること



(9)女性が仕事を持つことについて

問 12 あなたは、女性が仕事を持つことについてどのようにお考えですか。(○はひとつ)

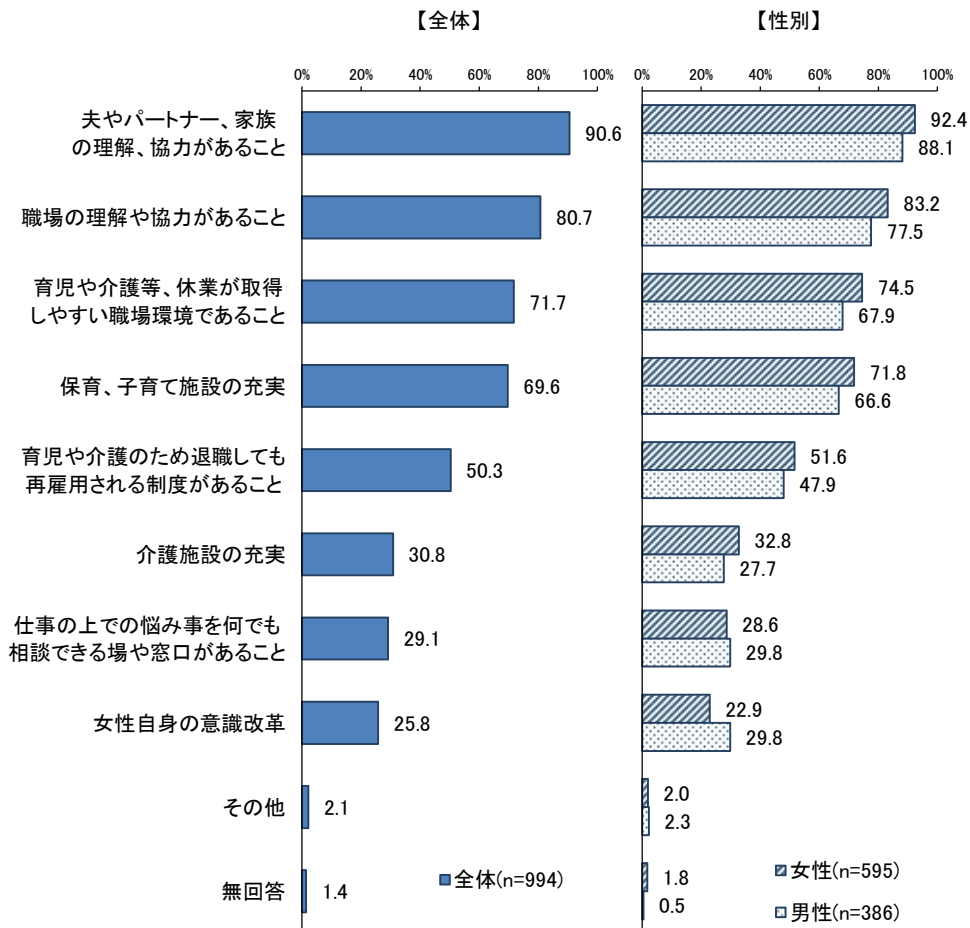
図 女性が仕事を持つことについて



(10)女性が仕事を続けるために必要なこと

問 13 女性が仕事を続けるために必要なことは、どのようなことだと思いますか。(○はいくつでも)

図 女性が仕事を続けるために必要なこと



(11)家庭における役割分担

問 14 家庭におけるさまざまな役割について、おたずねします。あなたの家庭では以下のことがらをどのように分担していますか。①から⑫のそれぞれについて一番近いと思われる番号に○をつけてください。(各項目○はひとつ)
 ※配偶者やパートナーのいない方は、問 14-1へお進みください。

図 家庭における役割分担

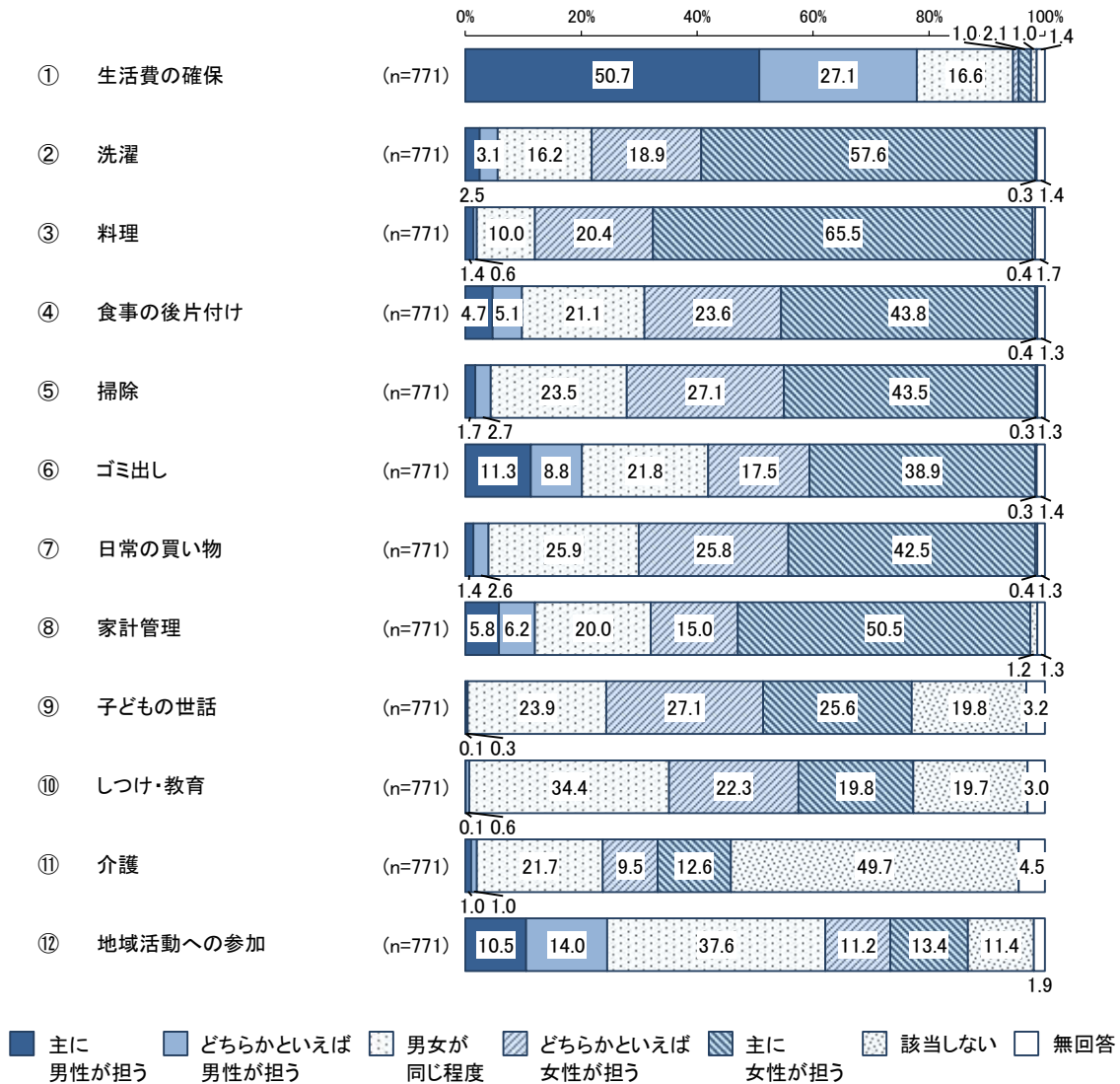
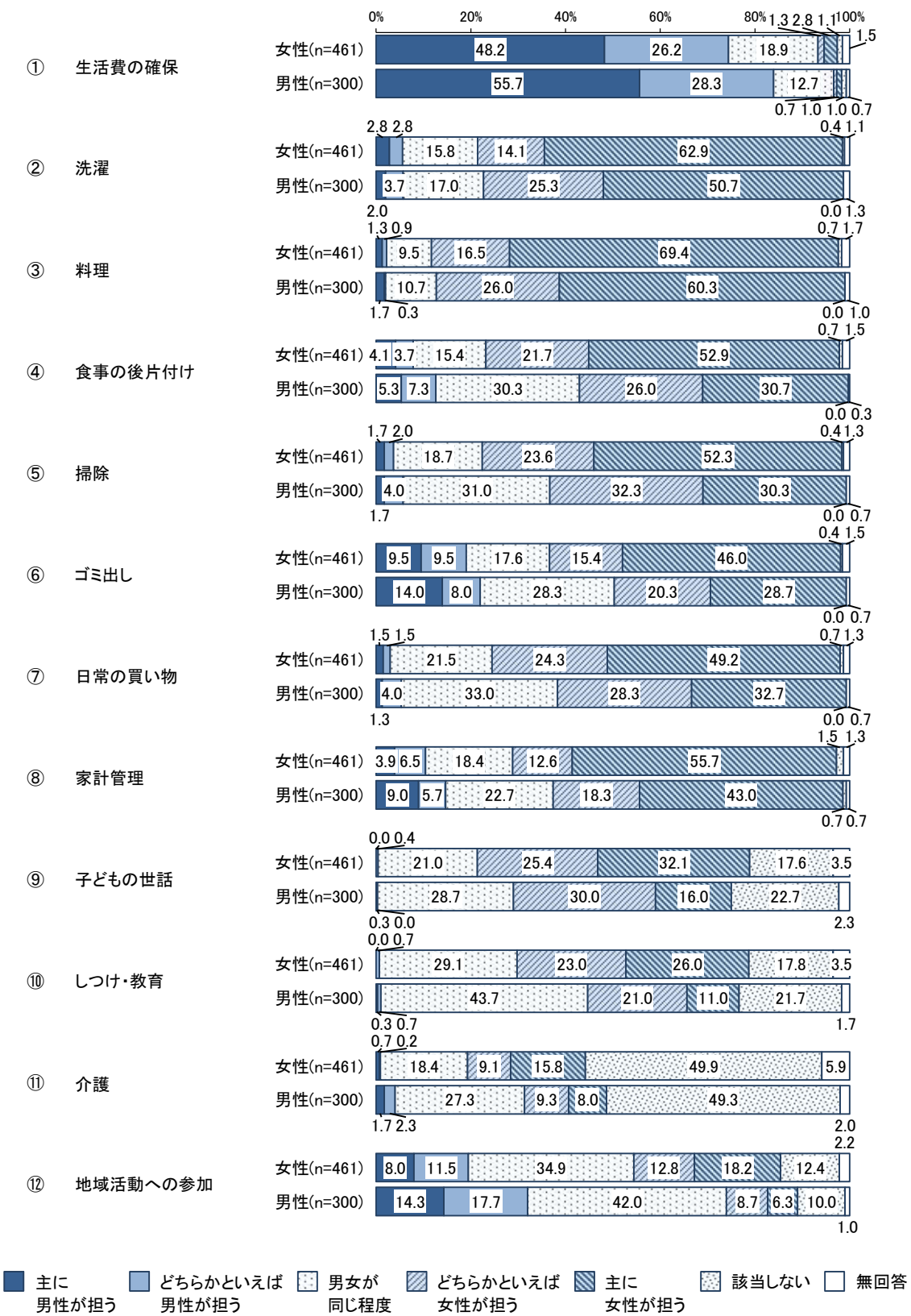


図 性別 家庭における役割分担



(12)望ましい家庭における役割分担

問 14-1 あなたは以下のことがらをどのように分担するのが良いと思いますか。①から⑫のそれぞれについて一番近いと思われる番号に○をつけてください。(各項目○はひとつ)
 ※配偶者やパートナーのいない方も、次のことがどなたの役割だとお考えか、お答えください。

図 望ましい家庭における役割分担

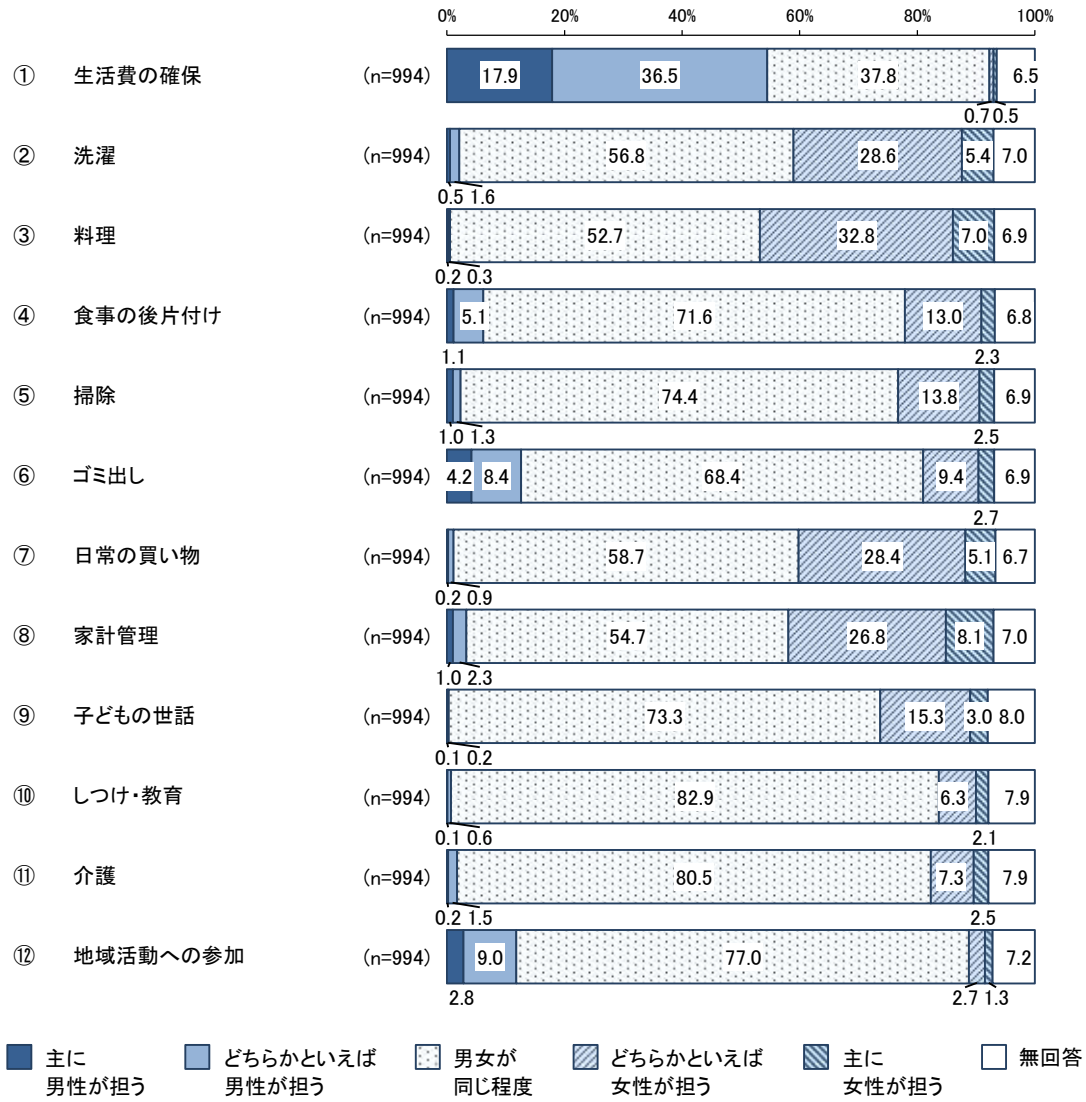
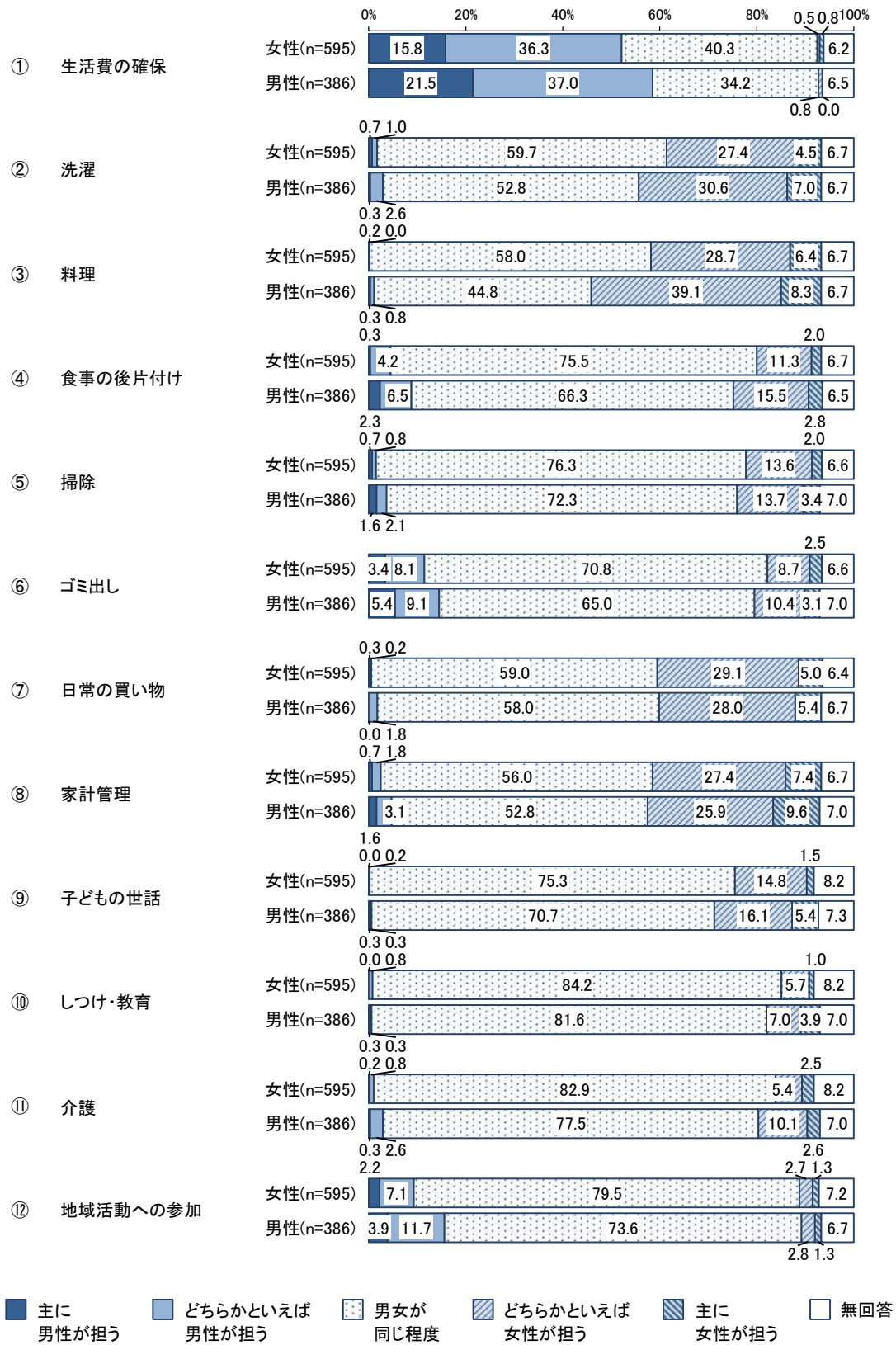


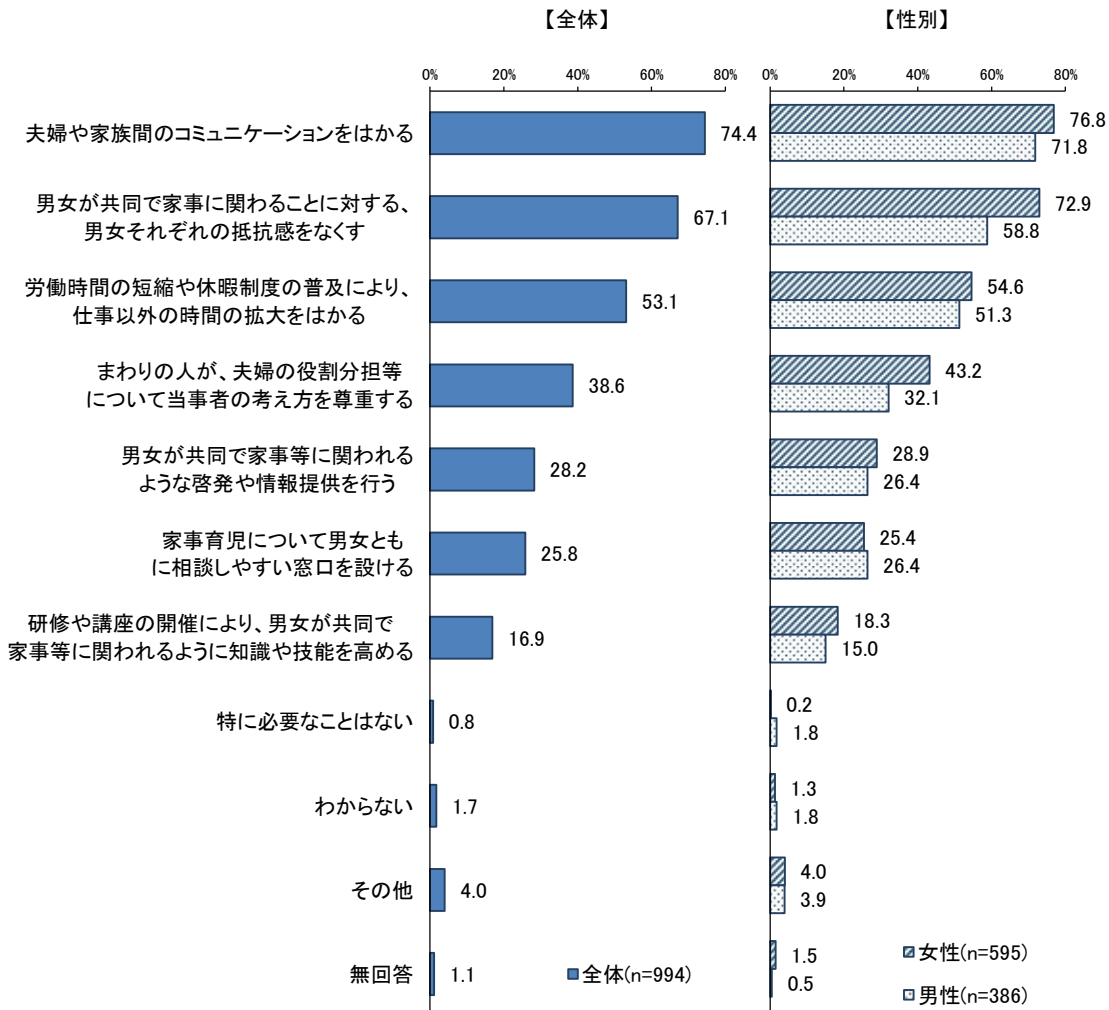
図 性別 望ましい家庭における役割分担



(13)男女が共同で家事、子育て、介護に積極的に参加していくために必要なこと

問 15 今後、男女が共同で、家事、子育て、介護に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

図 男女が共同で家事、子育て、介護に積極的に参加していくために必要なこと



3.DVやハラスメントについて

(1)DVについての認識

問 16 あなたは、次のようなことが配偶者・パートナーや恋人の間で行われた場合、暴力だと思いますか。
(○はそれぞれ1つ)

図 DVについての認識

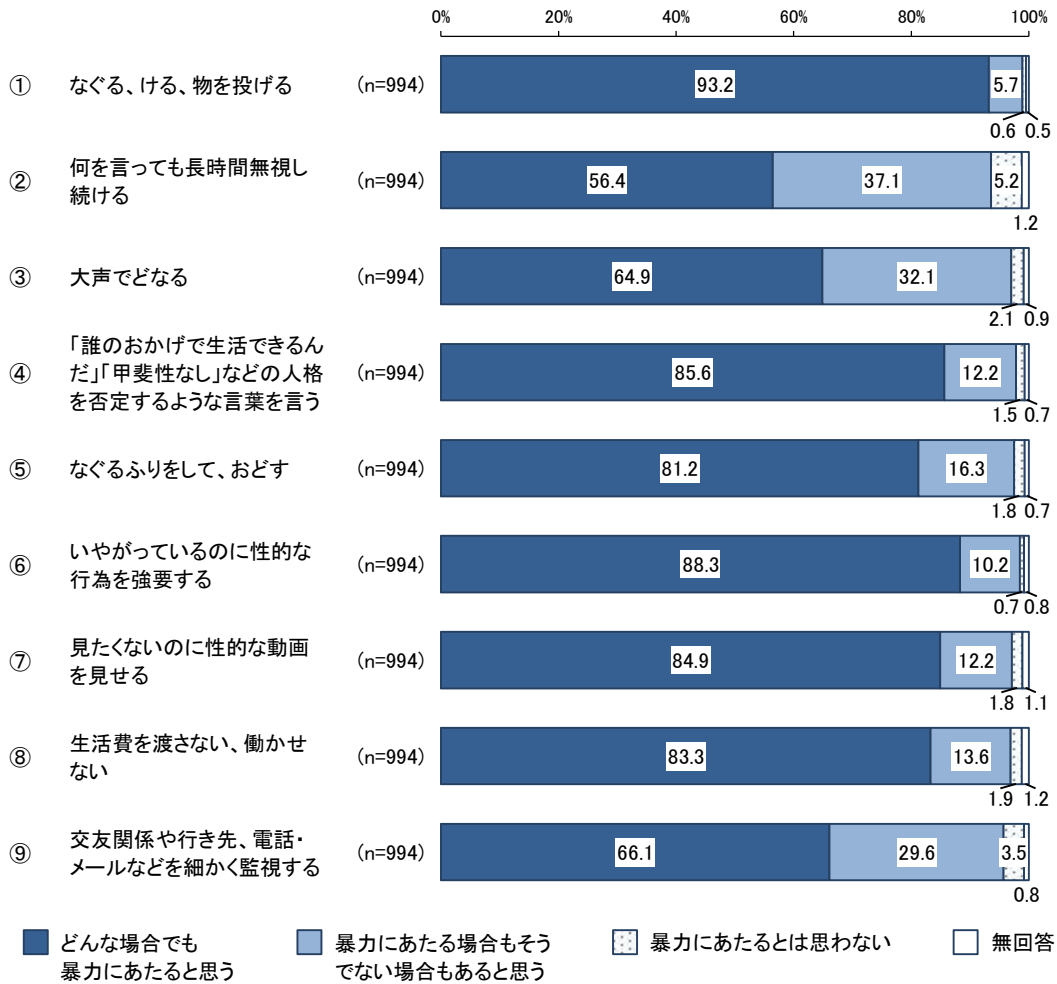
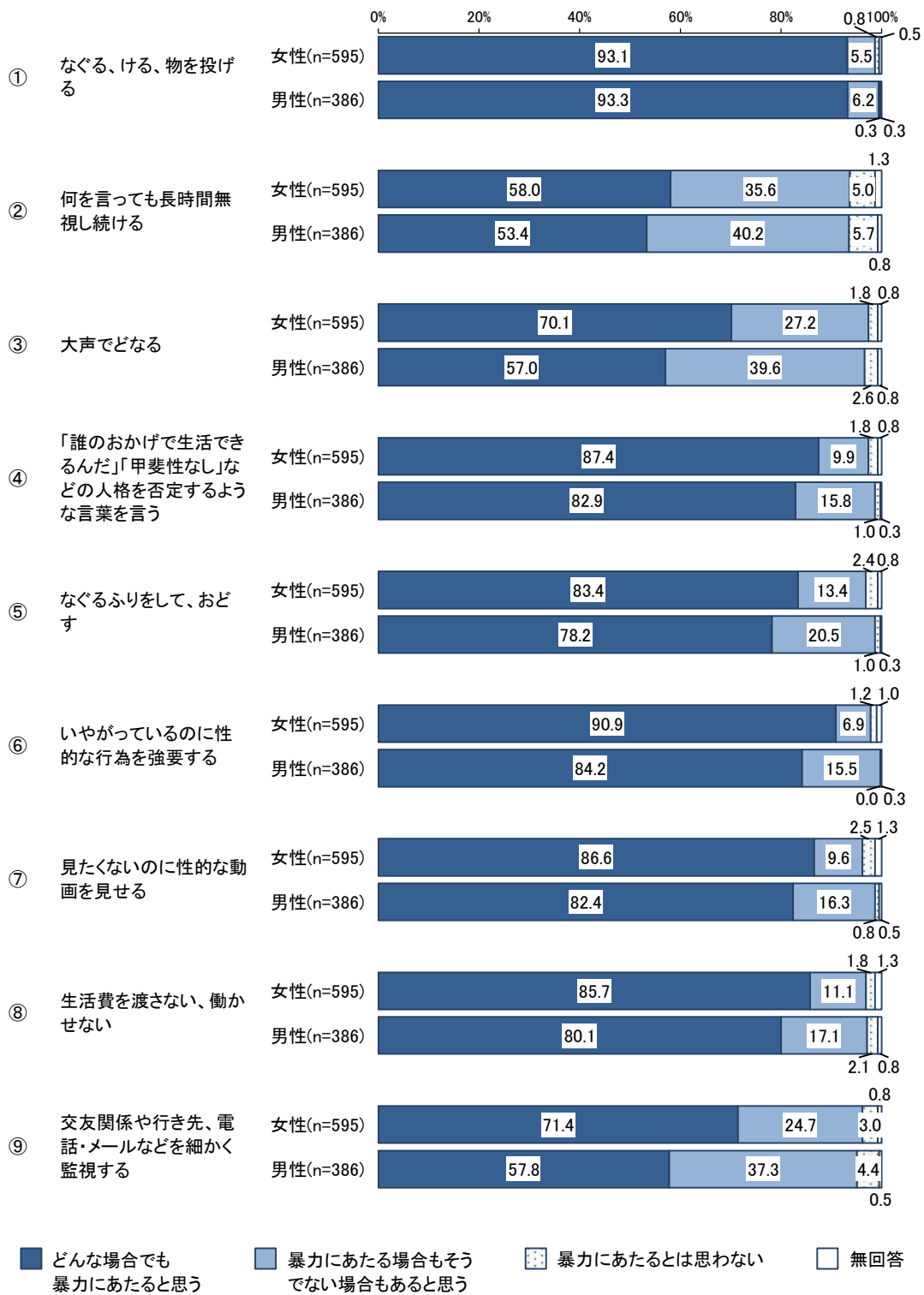


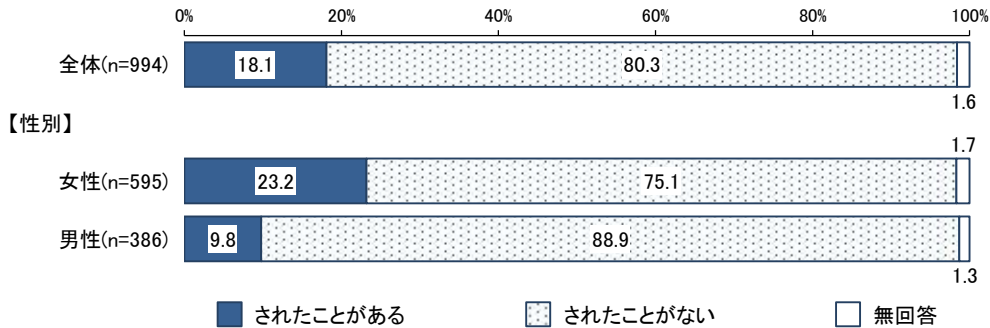
図 性別 DVIについての認識



(2)DVを受けた経験の有無

問 17 問 16 で聞いた項目は、すべて「DV」にあたる行為です。あなたは、配偶者・パートナーや恋人から、これらの行為をされたことがありますか。(○はひとつ)

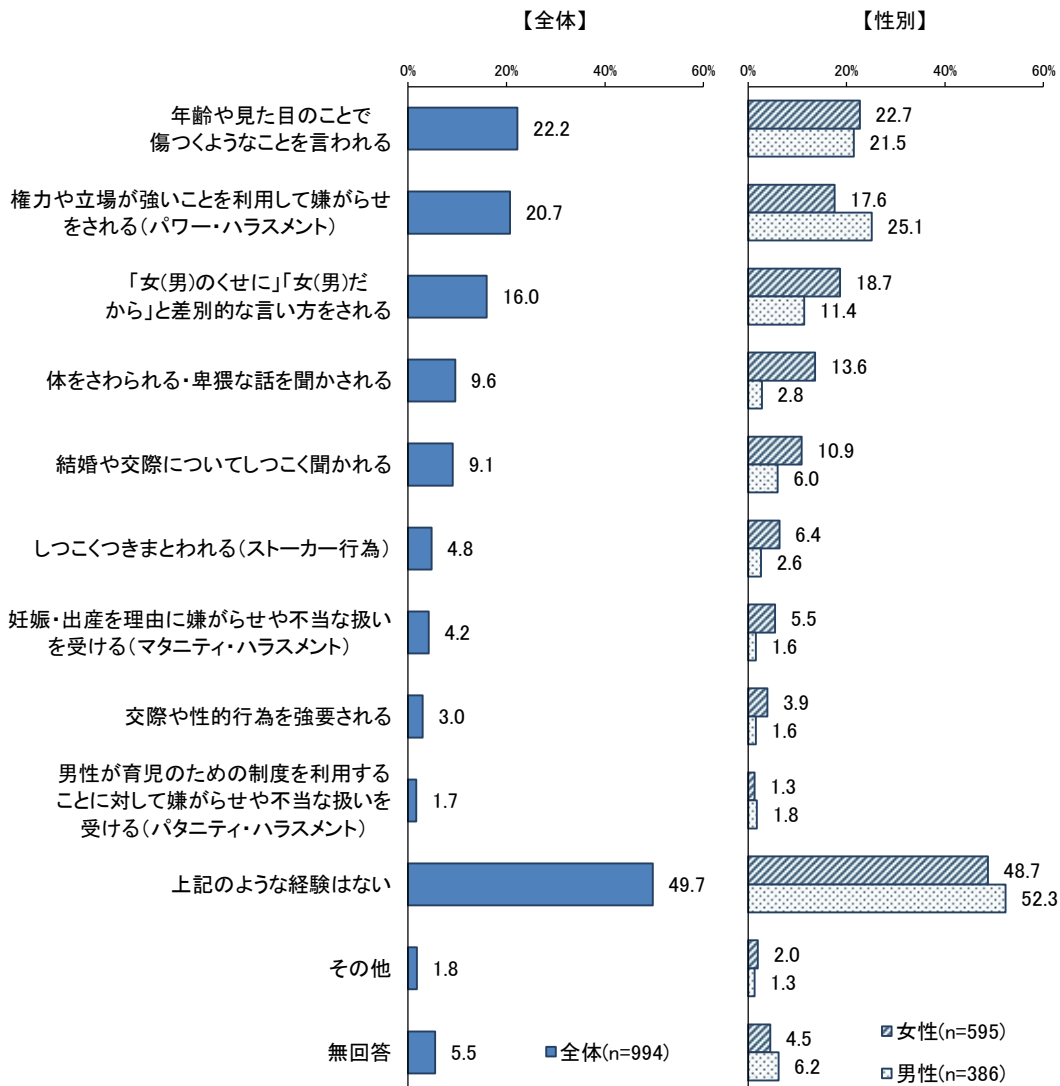
図 DVを受けた経験の有無



(3)ハラスメント等を受けた経験の有無

問 18 あなたは、職場や学校、その他の活動の場で次のような行為を受け、不快と感じたことがありますか。(○はいくつでも)

図 ハラスメント等を受けた経験の有無

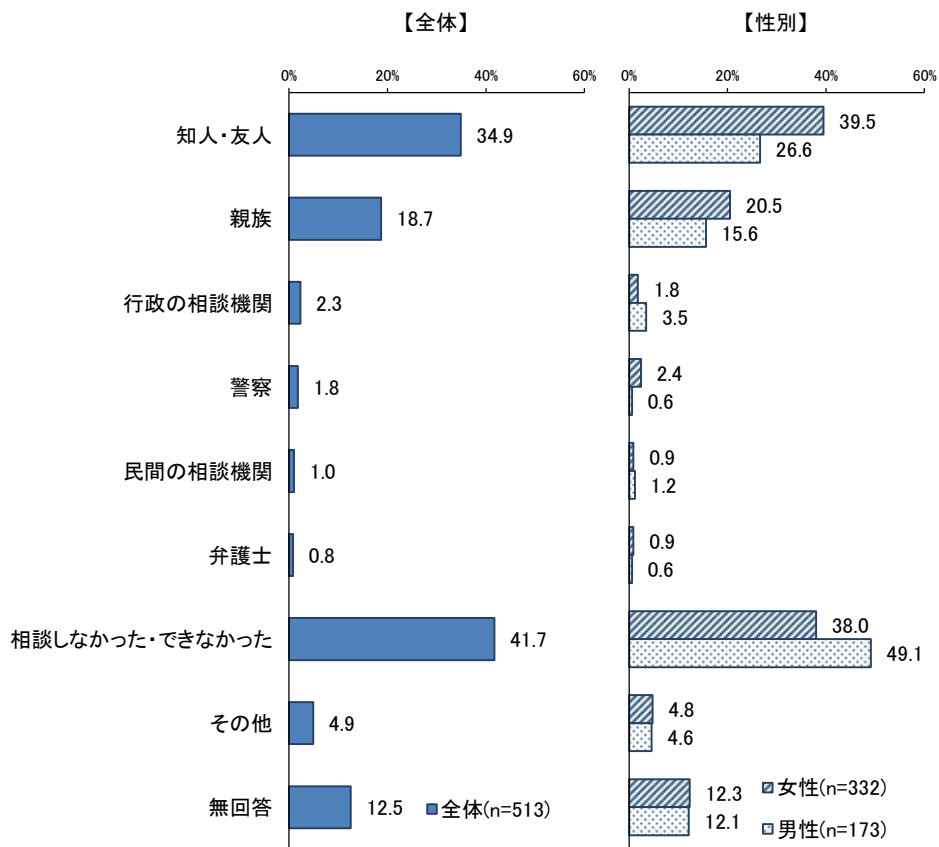


(4)DV・ハラスメントの相談状況

問 17・問 18 で「ある」と回答した方にお聞きします。

問 18-1 あなたはだれか(どこか)に相談しましたか。(〇はいくつでも)

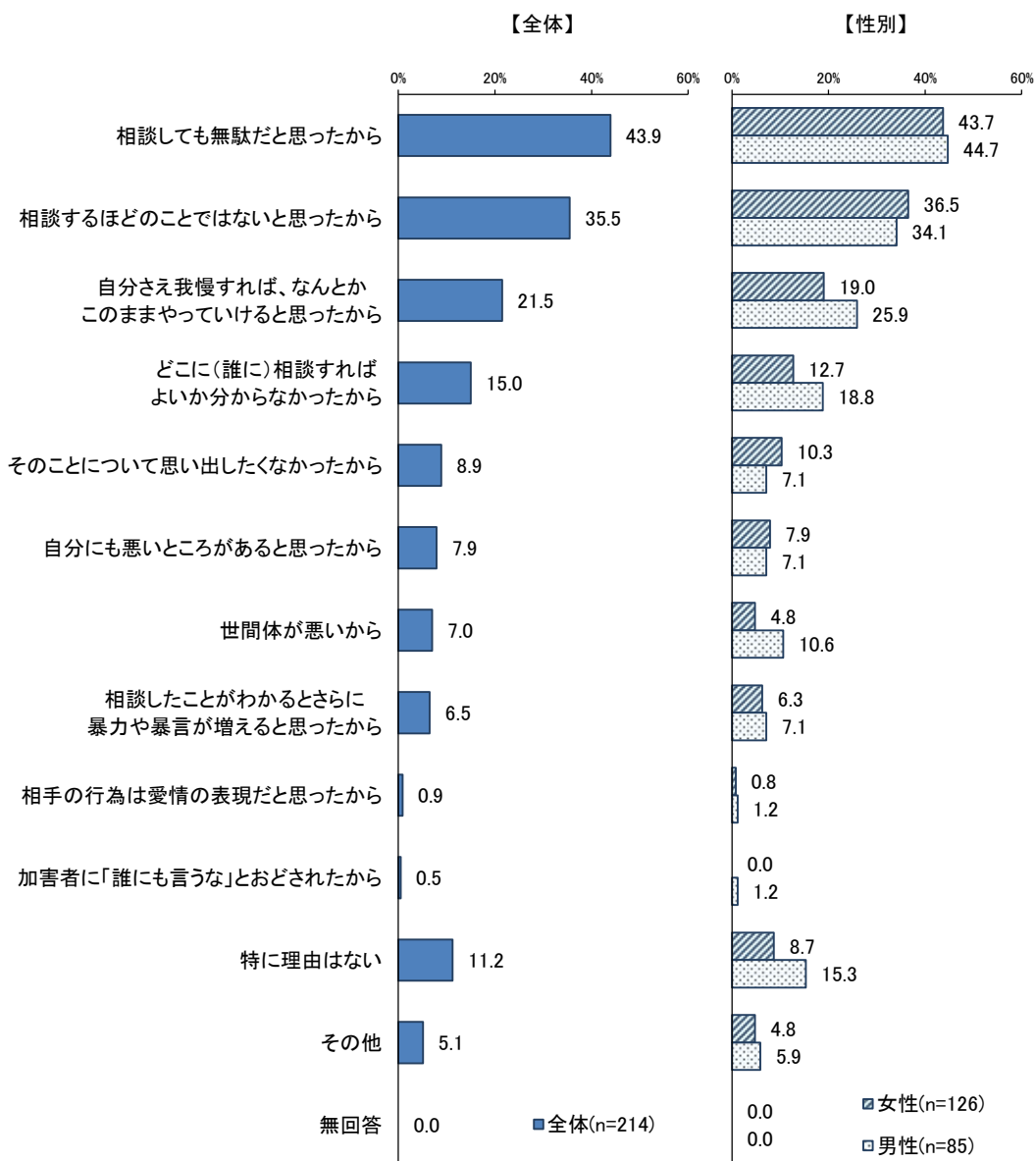
図 DV・ハラスメントの相談状況



(5)DV・ハラスメントを相談しなかった理由

問 18-1で「7. 相談しなかった・できなかった」に回答した方にお聞きします。
 問 18-2 相談しなかった理由は、次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

図 DV・ハラスメントを相談しなかった理由

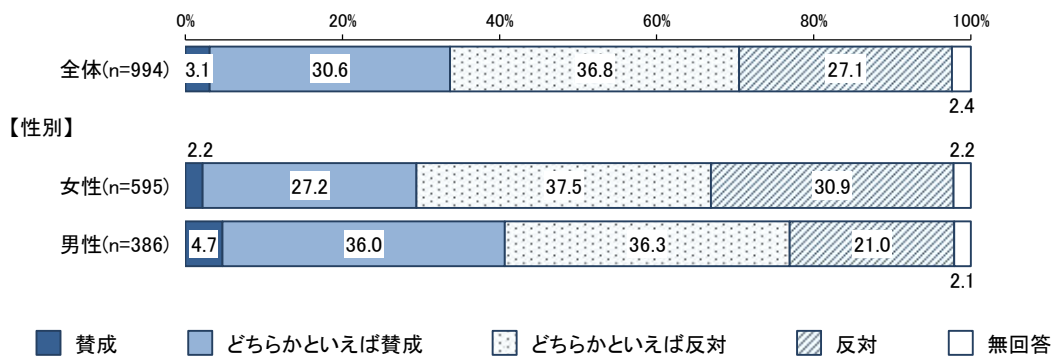


4.男女共同参画に関する意識について

(1)性別役割分担意識

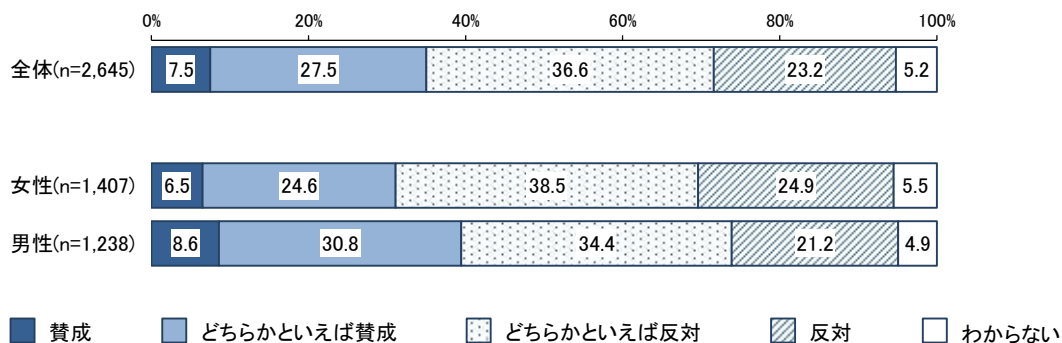
問 19 あなたは、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方についてどのように思いますか。(〇はひとつ)

図 性別役割分担意識



■内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」(令和元年 9 月)の結果

図 性別役割分担意識(全国調査)

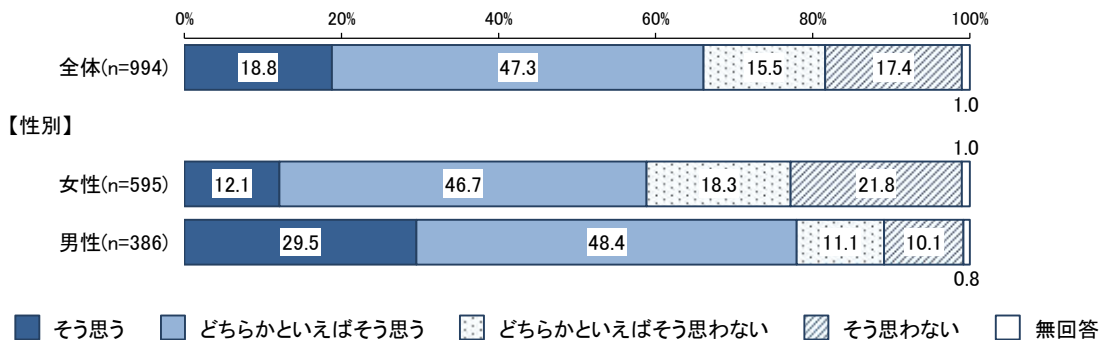


(2)家庭や子育てについての考え方

問 20 あなたは、次にあげるような考え方についてどのように思いますか。①から③のそれぞれについてあてはまる番号に○をつけてください。(各項目○はひとつ)

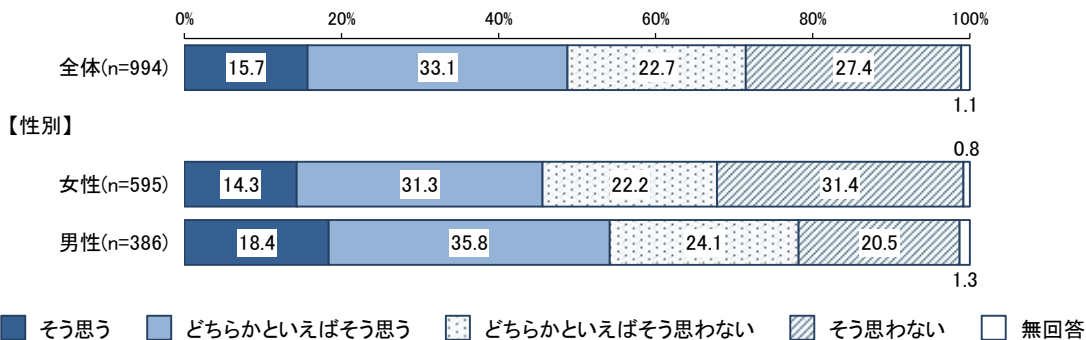
①妻や子どもを養うのは、男性の責任である

図 ①妻や子どもを養うのは、男性の責任である



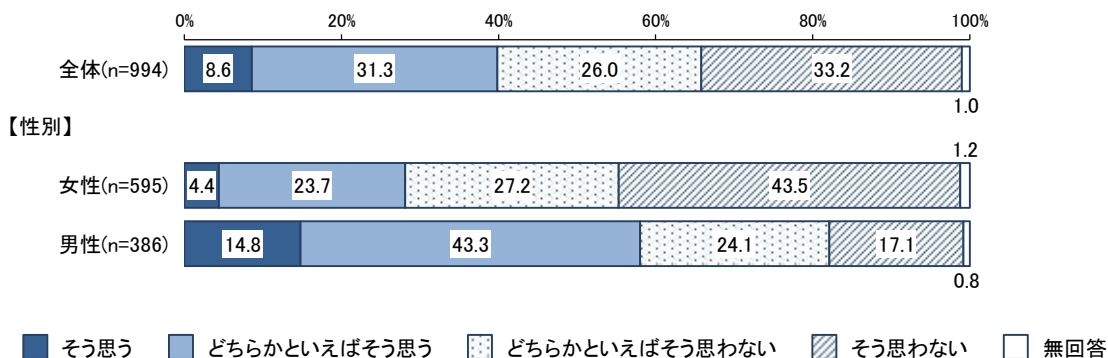
②子どもが3歳くらいまでは保育園等に入れず母親のもとで育てる方がよい

図 ②子どもが3歳くらいまでは保育園等に入れず母親のもとで育てる方がよい



③男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てる方がよい

図 ③男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てる方がよい



(3)男女の地位の平等観

問 21 あなたは、次にあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。
 ①から⑧のそれぞれについてあてはまる番号に○をつけてください。(各項目○はひとつ)

図 男女の地位の平等観

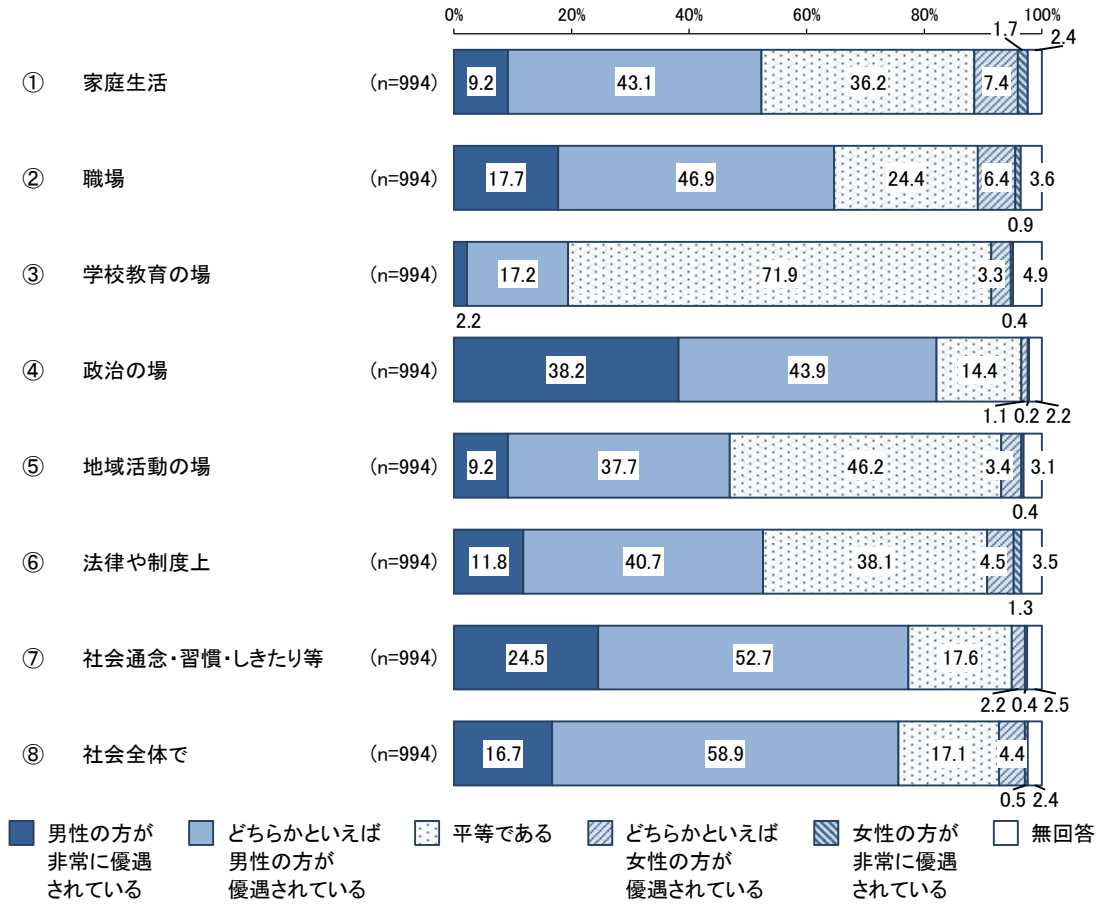
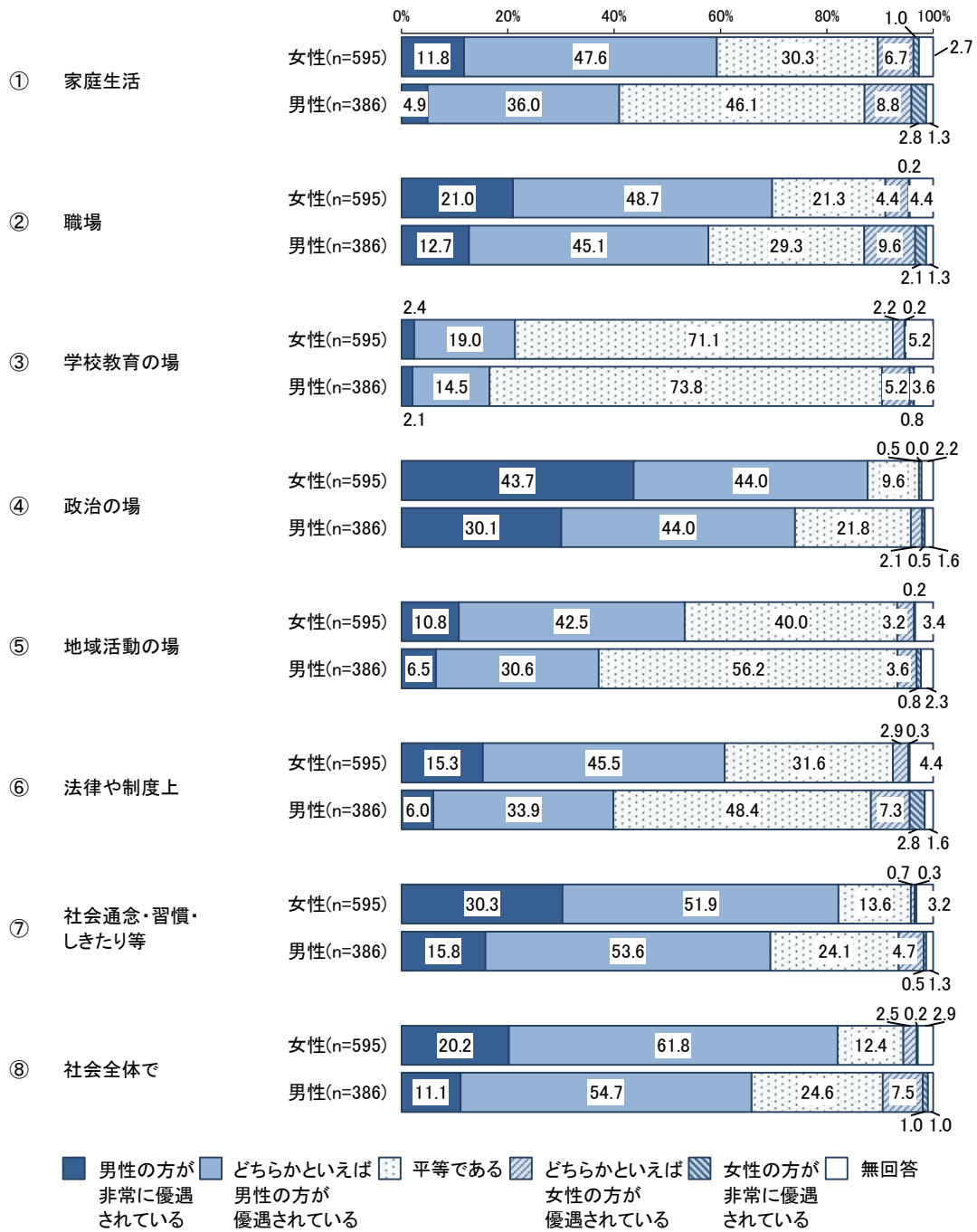


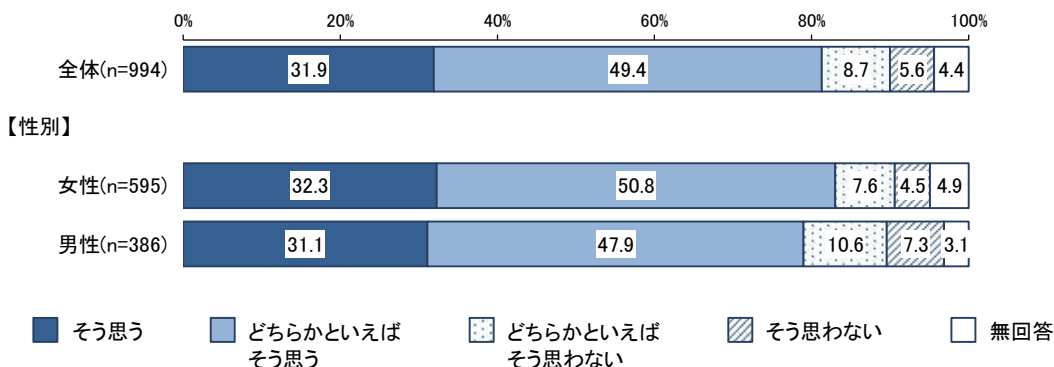
図 性別 男女の地位の平等観



(4)性的マイノリティにとって生活しづらい社会だと思うか

問 22 LGBTQをはじめとする性的マイノリティにとって、現状は生活しづらい社会だと思いますか。(〇は1つ)

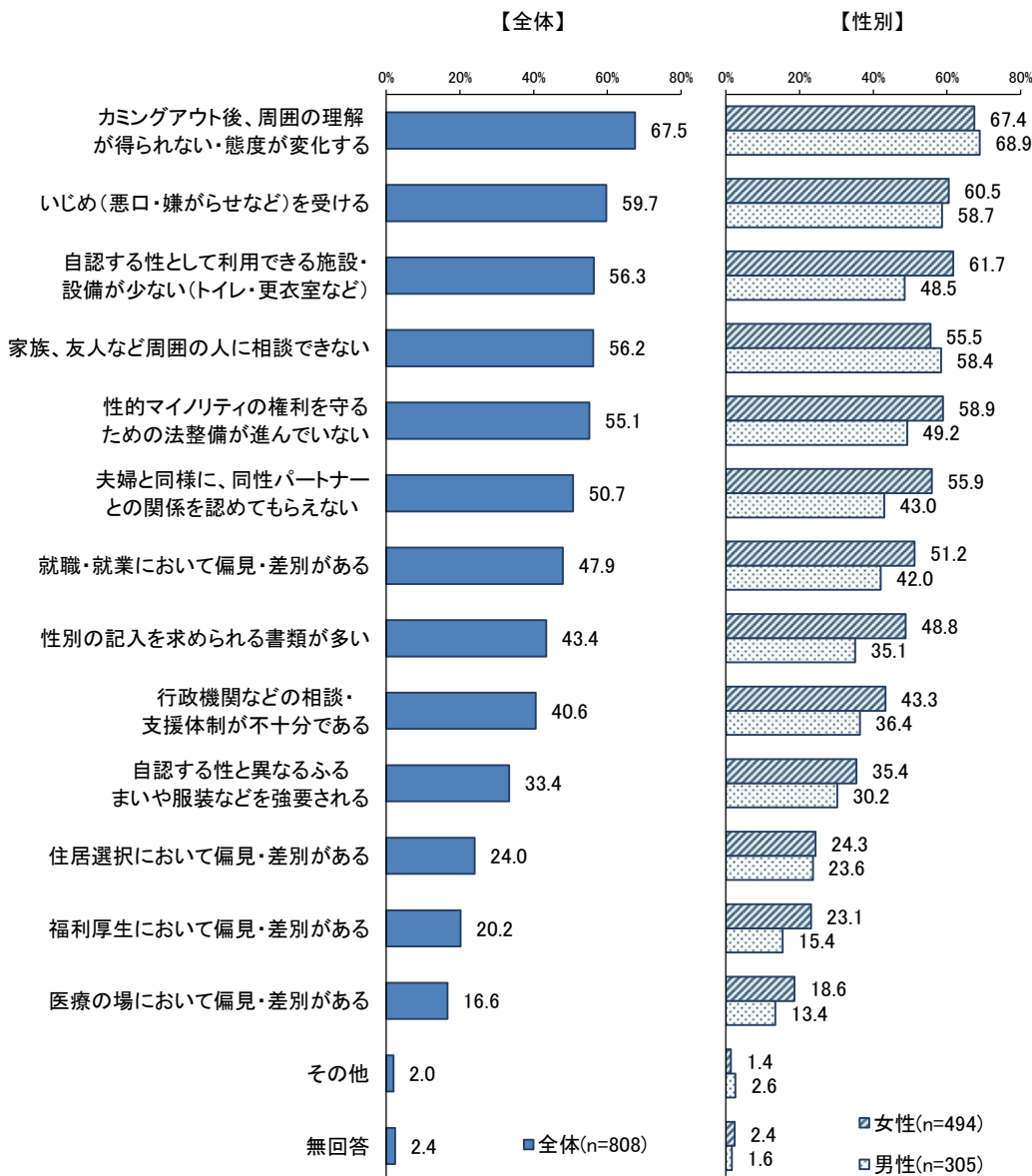
図 性的マイノリティにとって生活しづらい社会だと思うか



(5)性的マイノリティにとって生活しづらい社会となっている理由

問 22 で「1. そう思う」「2. どちらかといえばそう思う」と回答した方にお聞きします。
 問 22-1 どのようなことが生活しづらい社会にしていると思いますか。(〇はいくつでも)

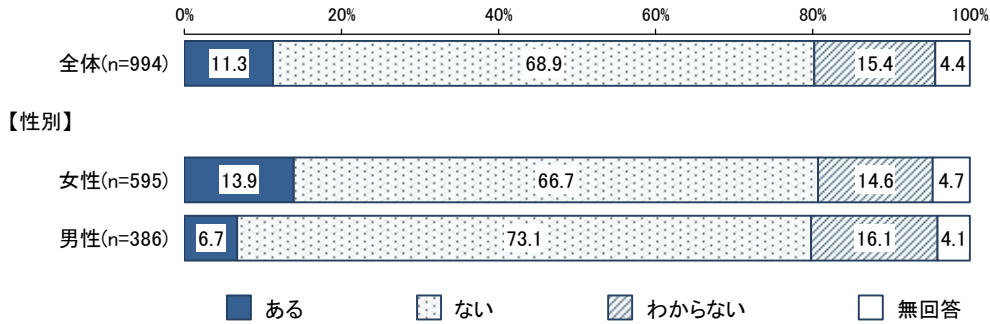
図 性的マイノリティにとって生活しづらい社会となっている理由



(6)「女性・男性であること」によって負担感や生きづらさを感じたことがあるか

問 23 あなたは、性別または見た目の性別が、「女性であること」または「男性であること」によって、負担感や生きづらさを感じたことがありますか。(○は1つ)

図 「女性・男性であること」によって負担感や生きづらさを感じたことがあるか

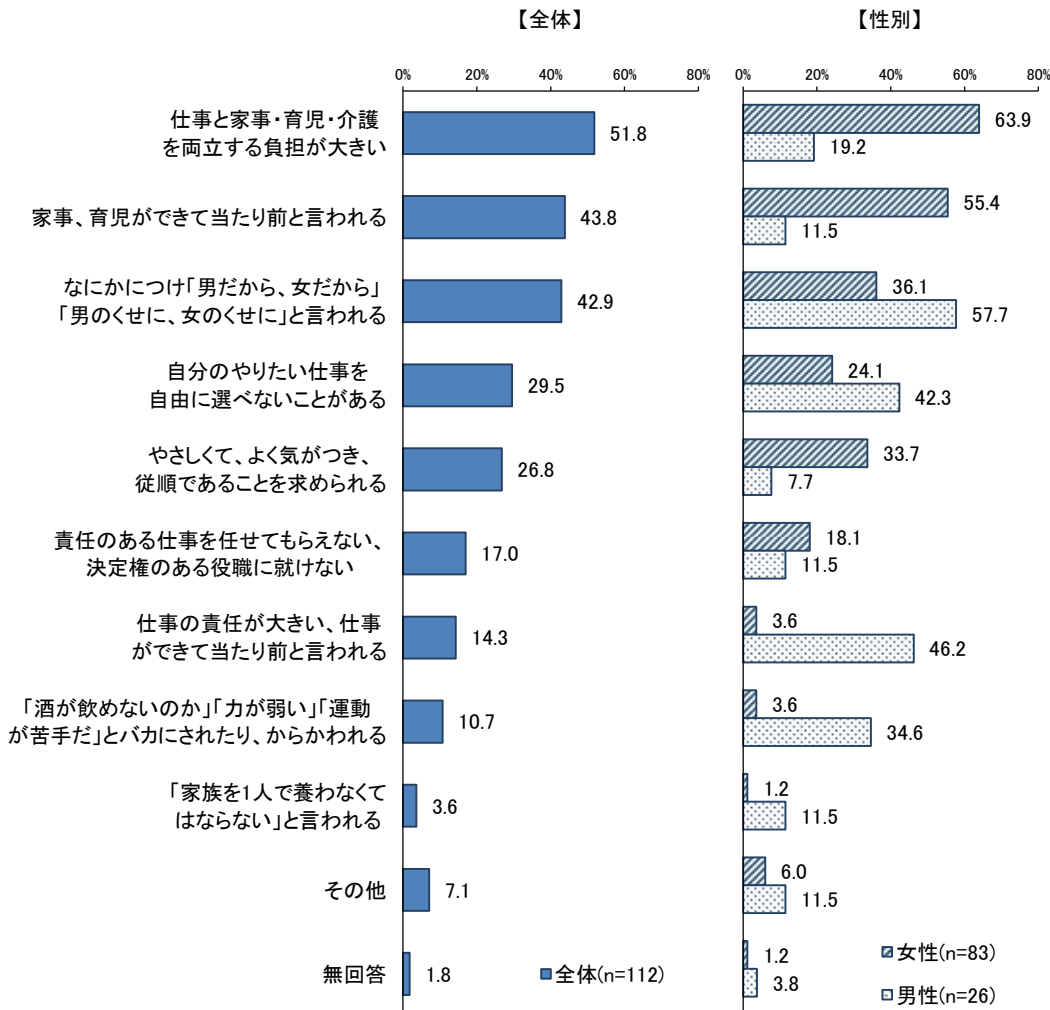


(7)「女性・男性であること」によって負担感や生きづらさを感じたとき

問 23 で「1. ある」と回答した方にお聞きします。

問 23-1 それは、どのようなときに感じましたか。(○はいくつでも)

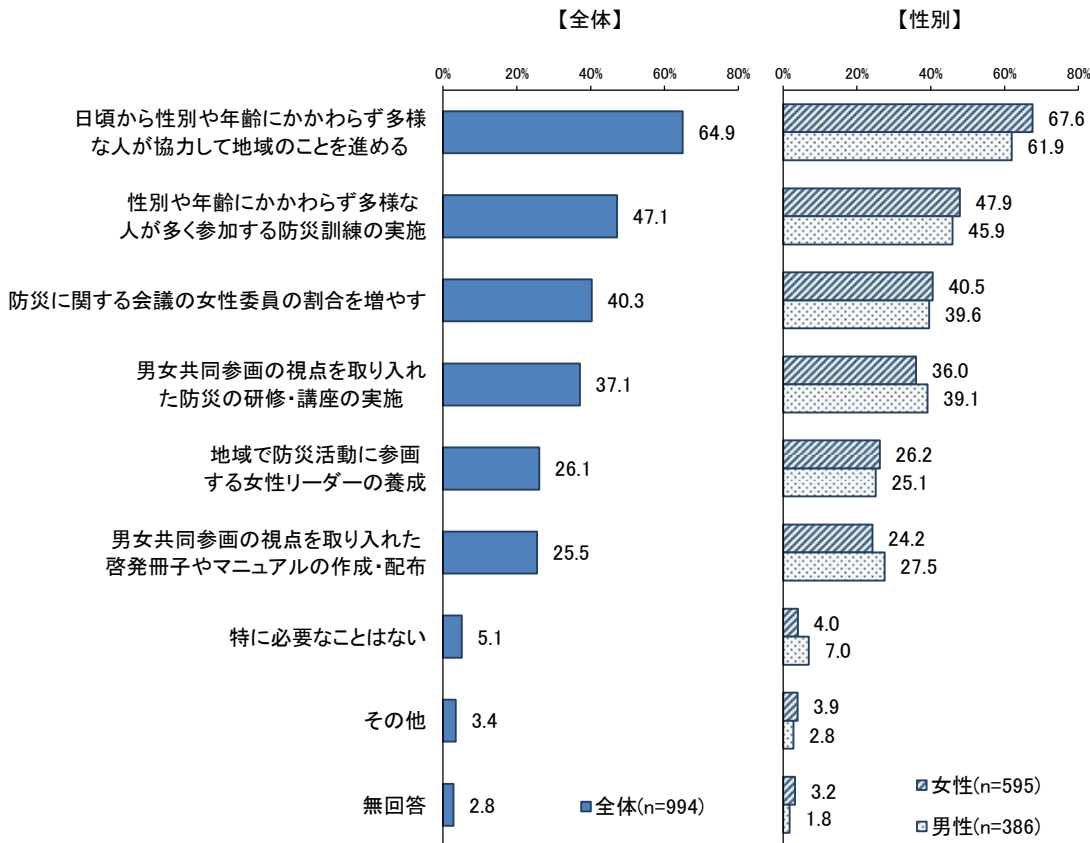
図 「女性・男性であること」によって負担感や生きづらさを感じたとき



(8)性別や年齢などによる違いや多様性に配慮した災害対応をしていくために必要なこと

問 24 災害時においては、女性や子どものプライバシーの確保、高齢者への配慮が足りなくなると指摘されています。性別や年齢などによる違いや多様性に配慮した災害対応をしていくためには、日頃からのようなことを行っていく必要があると思いますか。(〇はいくつでも)

図 性別や年齢などによる違いや多様性に配慮した災害対応をしていくために必要なこと



(9)男女共同参画社会を実現するため行政が力を入れていくべきこと

問 25 あなたは、今後「男女共同参画社会」を実現するために、行政がどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

図 男女共同参画社会を実現するため行政が力を入れていくべきこと

